

## ② 各学科等の教育

### ■ 入学者に関する受入れ方針及び入学者数、収容定員、在学学生数

#### 【自動車整備科】

(単位:人)

年度	1年			2年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
平成28 (2016)	260	150	160	260	116	520	276
平成29 (2017)	260	91	93	260	146	520	239
平成30 (2018)	150	98	102	260	85	410	187

#### 【一級自動車整備研究科】

(単位:人)

年度	1年			2年		3年			4年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	3年編入学生数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
平成28 (2016)	60	34	34	60	38	60	0	25	60	28	240	125
平成29 (2017)	60	34	34	60	34	60	0	38	60	21	240	127
平成30 (2018)	50	34	34	60	34	60	0	32	60	33	230	133

【自動車研究開発科】

(単位:人)

年度	1年			2年		3年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
平成28 (2016)	40	31	32	40	22	40	21	120	75
平成29 (2017)	40	19	19	40	31	40	18	120	68
平成30 (2018)	40	12	12	40	17	40	27	120	56

【自動車整備留学生科】

(単位:人)

年度	1年			2年		3年		合計	
	収容定員	入学者数	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数	収容定員	期首学生数
平成30 (2018)	40	32	32	40	-	40	-	120	32



実 習	工作作業 20 〈12〉	工作作業	23	13	0	0	23	13
	測定作業 40 〈23〉	基本計測	46	26	0	0	46	26
	自動車 整備作業	エンジン系（電装・二輪含む）	244	136	106	59	350	195
		シャシ系（電装・二輪含む）	244	136	106	59	350	195
		二輪車	136	76	0	0	136	76
		ジーゼル自動車	0	0	64	36	64	36
		実践自動車整備	0	0	64	36	64	36
		故障原因探求	0	0	60	34	60	34
		総合自動車整備	0	0	126	70	126	70
	1090 〈606〉	小計	624	347	526	293	1150	640
自動車検査作業 50 〈28〉	自動車検査	0	0	74	42	74	42	
1200 〈667〉	実習 計	624	347	600	334	1224	681	
1800 〈1000〉	合 計	977	543	906	504	1883	1047	
一 般	一 般 科 目	（安全運転）	22	13	14	8	36	21
		（接客実務）	18	10	18	10	36	20
		（特別講座）	0	0	108	60	108	60
		小計	40	23	140	78	180	101
	講習 行事等		90	50	183	102	273	152
								0
計		130	73	323	180	453	253	
合 計		1107	615	1229	683	2336	1298	

・教育時間の1時間は、正味教育時間を50分とする。

教育科目別時間配分表〔一級自動車整備研究科3・4年次〕

教科	教育科目 国土交通省基準 基準時間数 (時限)	教育内容  教育科目名	3年次		4年次		合計		
			時間数	時限数	時間数	時限数	時間数	時限数	
学	自動車工学  75 (42)	基礎自動車工学	0	0	0	0	0	0	
		エンジン系構造(電装・二輪含む)	0	0	0	0	0	0	
		シャシ系構造(電装・二輪含む)	0	0	0	0	0	0	
		二輪車構造	0	0	0	0	0	0	
		ジーゼル自動車	0	0	0	0	0	0	
		総合自動車工学	0	0	0	0	0	0	
		自動車総論	0	0	0	0	0	0	
		図面・材料	0	0	0	0	0	0	
		自動車構造・力学	29	17	0	0	29	17	
		自動車電気・電子	29	17	0	0	29	17	
		新材料・新技術	29	17	0	0	29	17	
	小計	87	49	0	0	87	49		
	科	自動車整備  180 (100)	エンジン系整備(電装・二輪含む)	0	0	0	0	0	0
			シャシ系整備(電装・二輪含む)	0	0	0	0	0	0
			二輪車整備	0	0	0	0	0	0
故障原因探求			0	0	0	0	0	0	
総合自動車整備			0	0	0	0	0	0	
総合診断技術			68	38	0	0	68	38	
応用整備技術			82	46	0	0	82	46	
環境安全論			32	18	0	0	32	18	
小計	182	102	0	0	182	102			
	機器の構造・取扱 10 (6)	機器の構造取扱い	16	9	0	0	16	9	
	自動車検査 5 (3)	自動車検査	5	3	0	0	5	3	
	自動車整備に関する法規 10 (6)	自動車法規	11	7	0	0	11	7	
	自動車概論 ※任意設定  (0)	自動車概論Ⅰ	32	18	0	0	32	18	
自動車概論Ⅱ		0	0	34	19	34	19		
シャシ制御システム		0	0	34	19	34	19		
エンジン制御システム		0	0	34	19	34	19		
	小計	32	18	102	57	134	75		
	※を除き280(156)	学科計	333	185	102	57	435	242	

教育科目別時間配分表〔一級自動車整備研究科3・4年次〕

実 習	工作作業 5 〈3〉	機械加工	14	8	0	0	14	8	
	測定作業 10 〈6〉	応用計測	14	8	0	0	14	8	
	自動車 整備作業	エンジン系（電装・二輪含む）		0	0	0	0	0	0
		シヤシ系（電装・二輪含む）		0	0	0	0	0	0
		二輪車		0	0	0	0	0	0
		ジーゼル自動車		0	0	0	0	0	0
		実践自動車整備		0	0	0	0	0	0
		故障原因探求		0	0	0	0	0	0
		総合自動車整備		0	0	0	0	0	0
		整備技術		126	70	0	0	126	70
		故障診断		101	57	0	0	101	57
		応用整備実務		101	57	0	0	101	57
	440 〈245〉	整備作業課題研究		137	77	0	0	137	77
	小計		465	259	0	0	465	259	
自動車検査作業 10 〈6〉	自動車検査		22	13	0	0	22	13	
サービスマネジメント ※任意設定	サービスマネジメントⅠ		104	58	0	0	104	58	
	サービスマネジメントⅡ		0	0	52	29	52	29	
	小計		104	58	52	29	156	87	
※を除き465 〈259〉	計		619	344	52	29	671	373	
実務 実習	体験実習 200 〈112〉	企業実習	0	0	216	120	216	120	
	評価実習 550 〈306〉	専門実習	0	0	153	85	153	85	
		応用実習	0	0	200	112	200	112	
		総合実習	0	0	200	112	200	112	
	計		0	0	769	428	769	428	
1800 〈1000〉	体験実習を除き※を含め1600以上 合計		930	517	707	393	1637	910	
一 般	一般科目	(安全運転)	0	0	0	0	0	0	
		(接客実務)	0	0	0	0	0	0	
		(特別講座)	0	0	0	0	0	0	
		(経営概論)	31	18	31	18	62	35	
		(営業実務)	61	34	61	34	122	68	
		(情報処理技術)	31	18	31	18	62	35	
	小計		123	69	123	69	246	137	
講習 行事等		100	56	100	56	200	112		
	計		223	124	223	124	446	248	
	合計		1175	653	1146	637	2321	1290	

・教育時間の1時間は、正味教育時間を50分とする。

教科	教育科目	1年	2年	3年	合計	
専 門 学 科	自動車 工学	工業物理	32			32
		自動車基礎	16			16
		機械材料	32			32
		電気工学	32			32
		機械設計技術	32			32
		材料力学	32			32
		制御工学		32		32
		流体力学			32	32
		数学	32			32
		機械製図	16	55		71
		CAD/CAE	32	81	64	177
	小計	256	168	96	520	
	自動車 整備	パワートレインシステム	32	32		64
		車体構造	32			32
		シャシ構造	32			32
		パワートレイン新機構			32	32
		トランスミッション構造	23			23
	小計	119	32	32	183	
	機器の 構造取扱	測定・検査技術	16	16		32
						0
自動車検査	品質管理			32	32	
					0	
自動車整備法規	保安基準 世界の自動車法規			23	23	
					0	
計		391	216	183	790	

教科	教育科目		1年	2年	3年	合計	
専門 実習	工作作業	加工実習	32			32	
	測定作業	計測技術	23	23		46	
	自動車 整備作業		エンジン分解・整備・調整	144		138	282
			内装・電装分解・整備・調整	144		113	257
			シャシ分解・整備・調整	144		138	282
			フォーミュラカーエンジン整備		144		144
			フォーミュラカーシャシ整備		144		144
		小計	432	288	389	1109	
	自動車検査作業	完成車両検査		50		50	
		小計	0	50	0	50	
	計	487	361	389	1237		
一般 科目	英語	英語	64	64	64	192	
		技術英語	32			32	
		小計	96	64	64	224	
	車の開発	開発システム	16	32	16	64	
		卒業研究			80	80	
		小計	16	32	96	144	
	モノづくり	フォーミュラカー製作	129	324		453	
						0	
		小計	129	324	0	453	
	企業研修			64		64	
	環境社会				16	16	
	製造技術				113	113	
	人間工学			16	16	32	
	生産工学				48	48	
生産コスト			16	50	66		
					0		
安全運転			32		32		
	計	241	548	403	1192		
行事	講習行事等		88	49	189	326	
合計			1207	1174	1164	3545	

教育科目別時間配分表〔自動車整備留学生科1・2・3年次〕

1/2

教科	教育科目	教育内容	1年	2年	3年	合計
		基礎自動車工学	23	23	0	46
		エンジン系構造（電装・二輪含む）	63	63	37	163
		シャシ系構造（電装・二輪含む）	63	63	37	163
		二輪車構造	0	0	0	0
	自動車	ジーゼル自動車	0	0	27	27
	工学	総合自動車工学	0	0	28	28
学		自動車総論	36	25	27	88
		図面・材料	9	19	0	28
		新機構・次世代技術	0	7	14	21
		小計	194	200	170	564
		エンジン系整備（電装・二輪含む）	48	37	0	85
		シャシ系整備（電装・二輪含む）	48	37	0	85
	自動車	二輪車整備	0	36	0	36
	整備	故障原因探求	0	0	27	27
		総合自動車整備	0	0	54	54
科		小計	96	110	81	287
	機器の 構造・取扱	整備作業・測定・検査・機器	19	34	0	53
	自動車	自動車検査	0	0	23	23
	検査					0
	自動車整備に 関する法規	自動車法規	36	0	23	59
						0
	計		345	344	297	986

教育科目別時間配分表〔自動車整備留学生科1・2・3年次〕

2/2

教科	教育科目	教育内容	1年	2年	3年	合計
	工作作業	工作作業	23	23	0	46
	測定作業	基本計測	23	45	0	68
		エンジン系（電装・二輪含む）	260	262	106	628
		シャシ系（電装・二輪含む）	260	262	106	628
実	自動車	二輪車	0	86	0	86
	整備作業	ジーゼル自動車	0	0	50	50
		実践自動車整備	0	0	50	50
		故障原因探求	0	0	50	50
		総合自動車整備	64	0	100	164
		新機構・次世代技術	0	14	61	75
習		小計	584	624	523	1731
	自動車		0	0	57	57
	検査作業					0
	計		630	692	580	1902
	合計		975	1036	877	2888
		（安全運転）	18	22	14	54
		（日本語教育）	18	0	0	18
一	一般科目	（接客実務）	0	18	18	36
		（特別講座）	18	0	108	126
		小計	54	40	140	234
般	講習		158	88	182	428
	行事等					0
	計		212	128	322	662
	合計		1187	1164	1199	3550
・教育時間の1時間は、正味教育時間を50分とする。						

## 学則

### 第5章 学習の評価、課程修了の認定、卒業及び転科

(履修の方法)

第18条 履修の方法に関し必要な事項は、校長が別に定める。

(学習の評価)

第19条 学習の評価は、学科については筆記試験により、実技については実技試験により行う。

但し、校長が必要と認めるときは報告書の提出、又は、「教育科目履修等認定委員会」の認定をもってこれにかえることができる。

- 2 筆記試験は、各科目ごとに行なう平常試験、期末試験及び卒業試験とし、校長が必要と認めるときは臨時に試験を行なうことができる。
- 3 病気、その他やむを得ない理由で試験を欠席した者については、追試験を行なう。
- 4 第2項の試験の結果、不合格の科目がある者に対し、その科目について願い出により再試験又は、特別補講を行なうことができる。
- 5 学生が本校以外での学修をもって、本校の教育科目を修了したものと見なすことを願い出た場合は、「教育科目履修等認定委員会」において審査し、これを修了したものと認定することができる。

(課程修了の認定)

第20条 各学年の課程の修了は、その科目の出席状況及び学習の評価を勘案して学年末に認定する。

- 2 前項について、事情により学年末に認定できない場合は、別の定めにより、これを認定することがある。
- 3 一級自動車整備研究科においては、2学年の課程の修了をもって修了証を交付する。

(原級留置)

第21条 各学年の所定の科目を修了することができなくなった学生について教育上必要があるときは、原級に留め置くことがある。

- 2 一級自動車整備研究科に入学した1種養成施設における一級自動車整備士養成課程の受講に必要な二級自動車整備士資格を有しない者については、遅くとも、3年次当該年の最初に行われる二級自動車整備士登録試験合格発表時に所定の資格を取得できる見通しが無い場合は次年度も原級に留め置く。

(卒業、称号の授与)

第22条 校長は、試験等に合格し、本校所定の課程を修了した者には、卒業証書(別紙)を授与する。

- 2 前項により、工業専門課程自動車整備科並びに工業専門課程自動車研究開発科を修了した者には、別紙により**専門士(工業専門課程)**の称号を授与する。
- 3 第1項により、工業専門課程一級自動車整備研究科を修了した者には、別紙により**高度専門士(工業専門課程)**の称号を授与する。

(転科)

第23条 学生が在籍学科以外の学科への転科を希望する場合は、選考の結果、これを許可することがある。

〔様式1〕教育科目別時間配分表

## 教育科目別時間配分表（自動車整備科）

教 科	区分	教 育 科 目	1年次	2年次	合 計	
専 門 科  目	学 科	必 修	自動車工学	200	170	370
			自動車整備	110	80	190
			機器の構造・取扱い	34	0	34
			自動車検査	0	23	23
			整備に関する法規	0	23	23
	小 計			344	296	640
	実 習	必 修	工作作業	23	0	23
			測定作業	45	0	45
			自動車整備作業	624	522	1,146
			自動車検査作業	0	56	56
小 計			692	578	1,270	
一 般 科 目	必 修	安全運転	22	14	36	
		接客実務	18	18	36	
		特別講座	0	108	108	
	小 計			40	140	180
卒業に必要な総授業時間数			1,076	1,014	2,090	
各教科以外の教育活動			88	182	270	
合 計			1,164	1,196	2,360	

[様式2] 教育科目別時間配分表

教育科目別時間配分表（一級自動車整備研究科）

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	4年次	合計	
専門科目	学	必修	自動車工学	200	170	<b>80</b>	<b>0</b>	<b>450</b>
			自動車整備	110	80	<b>160</b>	<b>0</b>	<b>350</b>
			機器の構造・取扱	34	0	15	0	49
			自動車検査	0	23	5	0	28
			自動車整備法規	0	23	10	0	33
			<b>自動車概論</b>	0	0	<b>30</b>	<b>100</b>	<b>130</b>
			小計	344	296	300	<b>100</b>	<b>1040</b>
	実習	必修	工作作業	23	0	10	0	33
			測定作業	45	0	10	0	55
			自動車整備作業	624	522	<b>460</b>	0	<b>1,606</b>
			自動車検査作業	0	56	20	0	76
			体験実習	0	0	0	200	200
			評価実習	0	0	0	<b>550</b>	<b>550</b>
			<b>サービスマネジメント</b>	0	0	<b>100</b>	<b>50</b>	<b>150</b>
小計	692	578	600	<b>800</b>	<b>2,670</b>			
一般科目	必修	安全運転	22	22	0	0	44	
		接客実務	18	18	0	0	36	
		特別講座	50	50	0	0	100	
		経営概論	0	0	30	30	60	
		営業実務	0	0	60	60	120	
		情報処理技術	0	0	30	30	60	
		小計	90	90	120	120	420	
卒業に必要な時間数			1,126	964	1,020	1,020	4,130	
各教科以外の教育活動			88	182	100	100	470	
計			1214	1146	1,120	1,120	4,600	

## 教育科目別時間配分表(自動車研究開発科)

教科	区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	合計	
専門科目	学 必	自動車工学	256	168	96	520	
		自動車整備	119	32	32	183	
		機器の構造・取扱い	16	16	0	32	
		自動車検査	0	0	32	32	
		整備に関する法規	0	0	23	23	
			小 計	391	216	183	790
	目 実 習	学 必	工作作業	32	0	0	32
			測定作業	23	23	0	46
			自動車整備作業	432	288	389	1109
			自動車検査作業	0	50	0	50
		小 計	487	361	389	1237	
一般科目	学 修	車の開発	16	32	96	144	
		モノづくり	129	324	0	453	
		英語	96	64	64	224	
		安全運転	0	32	0	32	
		その他	0	96	243	339	
			小 計	241	548	403	1192
卒業に必要な総授業時間数			1119	1125	975	3219	
各教科以外の教育活動			88	49	189	326	
合 計			1207	1174	1164	3545	

## 教育科目別時間配分表(自動車整備留学生科)

教科		区分	教育科目	1年次	2年次	3年次	合計
専 門 科 目	学 科	必	自動車工学	180	200	170	550
			自動車整備	90	110	80	280
			機器の構造・取扱い	15	34	0	49
		修	自動車検査	0	0	23	23
			整備に関する法規	15	0	23	38
	小 計			300	344	296	940
	実 習	必	工作作業	20	23	0	43
			測定作業	20	45	0	65
		修	自動車整備作業	560	624	522	1706
			自動車検査作業	0	0	56	56
小 計			600	692	578	1,870	
一 般 科 目	必	修	安全運転	18	22	14	54
			日本語教育	18	0	0	18
		接客実務	0	18	18	36	
		特別講座	18	0	108	126	
	小 計			54	40	140	234
卒業に必要な総授業時間数				954	1076	1014	3,044
各教科以外の教育活動				88	88	182	358
合 計				1,042	1,164	1,196	3,402

## 細則

### (学習評価の基準)

第16条 学習評価の時期は、各学期末及び全科目修了を認定する時とする。

2 各学期末の学習評価は、平常試験、報告書及び期末試験を総合して評価する。

3 学習評価は、「5・4・3・2・1」の5段階で表わす。

(1)5:特に成績優秀なもの

(2)4:成績良のもの

(3)3:成績普通のもの

(4)2:成績やや劣るもの

(5)1:成績特に劣り、不合格のもの

4 評価は、次の基準による。

#### ●試験点数の評価

(1)5:90～100点

(2)4:75～89点

(3)3:60～74点

(4)60点未満の場合は再試験を行う。尚、再試験後の評価は試験規程による。

#### ●報告書の評価

(1)5:非常に優れている

(2)4:優れている

(3)3:普通

(4)2:やや劣る

(5)1:劣る(再提出の必要がある)

5 期末及び卒業試験の合格点は、各科目毎に100点満点による60点以上とする。

6 追試験又は再試験等の得点は、試験結果の90%を得点とみなす。

但し、追試験に至った理由が止むを得ないものであると認められた場合は、この限りではない。

第17条 追試験又は再試験の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 追試験又は再試験を行なう日時、場所及び方法は学校が指定する。
- (2) 追試験を受けようとする者は、欠席理由を明記した追試験願を事前に提出しなければならない。
- (3) 追試験又は再試験の願い出には、願書に追試験及び再試験1科目ごとに2,000円を添えなければならない。
- (4) 再試験については、特別な補講をもってこれにかえることができる。
- (5) 病気その他止むを得ない理由により追試験又は再試験を欠席する場合には、欠席理由を明記した追試験又は再試験延期願を事前に提出しなければならない。この場合にあつては、追試験又は再試験料は免除する。

#### (補講の取扱)

第18条 出席率が別途定める基準に満たない者に対しては、その科目について願い出により補講を行なうことができる。

2 補講の手続、その他の事項は、次のとおりとする。

- (1) 補講を行なう日時、場所及び方法は、学校が指定する。
- (2) 補講の願い出は、願書に補講料1科目毎に1時限当り2,000円を添えなければならない。
- (3) 国土交通省の定める自動車整備士養成課程における教育科目(専門科目)以外の科目の補講については、特別な報告書をもってこれにかえることができる。
- (4) 病気、その他止むを得ない理由により、補講を欠席する場合には、欠席理由を明記した補講延期願を事前に提出しなければならない。ただし、この場合、補講料は免除する。

#### (学習評価の通知)

第19条 期末及び卒業試験の学習評価の結果は、学生及び保護者または保証人に通知する。

### **(修了の認定)**

第20条 各科目の修了は、その科目の出席の状況及び試験の成績を勘案して認定する。

2 「教育科目履修等認定委員会」において修了したものと認定することができる

本校以外での学修は「専修学校設置基準の一部を改正する省令(平成11年文部科学省令第47号)」で定める範囲とする。

3 「教育科目履修等認定委員会」の運営の詳細は別に定める。

4 一級自動車整備研究科2学年の全科目について課程の修了を認定した者には、別途定める修了証を交付する。

### **(原級留置)**

第21条 学則第21条2項で定める「一級自動車整備士養成課程の受講に必要な二級自動車整備士資格」とは、  
2級ガソリン及び2級ディーゼル自動車整備士の資格をいう。

### **(卒業の認定)**

第22条 卒業認定会議の結果、卒業に必要な全科目が一定の基準に達し、出席率良好、性  
行良好と認められるものには、校長が卒業を認定する。

2 自動車研究開発科に編入学した者については、3年次の課程修了までに2級ガソリン及び  
2級ディーゼル自動車整備士の資格を取得できない場合は卒業を認定しない。

3 卒業証書の様式は別に定める。

## ■ 学習の成果として取得を目指す資格、合格を目指す検定等

公的資格名称	自動車整備科	一級自動車整備研究科	自動車研究開発科	自動車整備留学生科
国家1級自動車整備士		●		
国家2級自動車整備士	●	●	●	●
国家3級自動車整備士				●
損害保険募集人資格	●	●		●
ガス溶接特別教育講習			●	
アーク溶接特別教育講習			●	

本田技研工業(株)の認定資格	自動車整備科	一級自動車整備研究科	自動車研究開発科	自動車整備留学生科
ホンダ四輪サービス2級エンジニア		●		
ホンダ四輪サービス3級エンジニア	●	●		●
ホンダモーターサイクルエンジニア3級	●			
ホンダセーフティコーディネーター	●	●		

## ■ 資格取得、検定試験合格等の実績（2017年度の実績）

公的資格名称	自動車整備科	一級自動車整備研究科	自動車研究開発科
国家1級自動車整備士	—	57.1%	—
国家2級自動車整備士	100%	100% (2年修了時)	100%
損害保険募集人資格	79.1%	90.9%	—
ガス溶接特別教育講習	—	—	100%
アーク溶接特別教育講習	—	—	100%

本田技研工業(株)の認定資格	自動車整備科	一級自動車整備研究科	自動車研究開発科
ホンダ四輪サービス2級エンジニア	—	100%	—
ホンダ四輪サービス3級エンジニア	95.1%	100%	—
ホンダ二輪サービスエンジニア	100%	—	—
ホンダセーフティコーディネーター	100%	100%	—

## ■ 卒業者数、卒業後の進路（2017年度の実績）

（単位：人）

学科	卒業者数	就職者数	主な就職先	進学者数	進学先
自動車整備科	143	143	本田技研工業(株) (株)ホンダ泉州販売 (株)ホンダプリモ大阪南 (株)ホンダネットナラ (株)ホンダ四輪販売南近畿 (株)ホンダ四輪販売北陸 (株)ホンダ四輪販売四国	0	—
一級自動車整備研究科	21	21	(株)ホンダカーズ愛知 (株)ホンダカーズ京都 (株)ホンダカーズ三重東 (株)ホンダカーズ広島 (株)ホンダ北大阪 (株)ゲンス (株)ビーディエス (株)ダイナーホンダ販売株式会社 (株)ヤナセ関西 八光自動車(株) (社)日本自動車連盟関西本部	0	—
自動車研究開発科	17	17	本田技研工業(株) (株)ケーシン (株)ホンダテクノフォート 三恵技研興業(株) (株)ショーワ	0	—

(株)ホンダカーズ大阪  
 (株)ホンダクリオ南海  
 (株)ホンダユーテック  
 (株)モビリティランド  
 (株)ホンダカーズ熊本  
 (株)ホンダカーズ徳島  
 (株)ホンダカーズ兵庫  
 (株)舞鶴ホンダ  
 (株)ホンダクリオ三洋  
 (株)ホンダクリオ滋賀  
 (株)ホンダオート三重  
 (株)ホンダモーターサイクルジャパン  
 (株)オートテックジャパン  
 東京海上日動調査サービス(株)  
 (株)テクニクサービス  
 いすゞ自動車近畿(株)  
 (株)和歌山マツダ  
 大阪トヨペット(株) 他

日信工業(株)  
 武蔵精密工業(株)  
 山王テック(株)  
 他